

Q5-2 石灰窒素を使って堆肥を上手につくる方法を教えてください。

A5-2 稲わらと石灰窒素を材料として速成堆肥をつくる時の手順を図5-1に示しました。

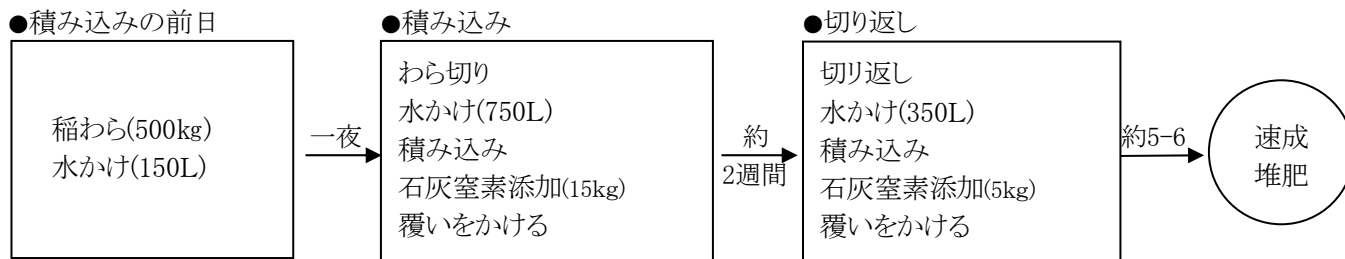


図5-1 速成堆肥のつくり方

なお、次の点に注意してください。

- ①積み込み前日に500kg(約10a分)のわらに対して水150～250Lの水かけをする。
- ②わらを2～3つ切りにして積むのが扱いやすく、一段(約30cm厚さ)積むごとに水をかけ、その上に石灰窒素をまく。これを繰り返して積み上げる。全体で水量は750L、石灰窒素量は10～15kgが目安量。
- ③積み上がりは500kgのわらで180×180×180cmぐらいになり、この大きさに積み上げると保温、保水、空気の流通がよく発酵に適した状態になる。積み終えたら上を、わら又はビニールなどで覆う。
- ④約2週間後に切りくずして水250～350Lをかけ石灰窒素5～8kgを散布しながら外側のわらを内側に、内側を外側に積み替える。よい堆肥をつくるには積み替え(切り返し)が必要である。
- ⑤この後、およそ5～6週間で速成堆肥ができ上がり堆肥の重さは使用した稲わらの約2倍になる。